

開かれた議会へ 八尾市議会 10年のあゆみ



HEISEI
平成
20年度

本会議の個人質問を 分かりやすく

これまでは、市政に対する議員からの質問と市からの答弁は、複数の内容を一括して行うスタイルでした。しかし、平成20年度(2008年度)からは、**一問一答という新たなスタイル**を取り入れ、議員からの質問とそれに対する答えがキャッチボールのようにやりとりできるようになりました。

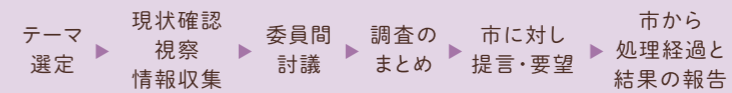


平成23年(2011年)からは本会議場に質問席を置き、対面で質問できるようになりました。

HEISEI
平成
23年度

市政をいろいろな角度から 調査できる仕組みをつくりました

常任委員会ごとに担当する事務事業の中から、4つの常任委員会が主体的にテーマを絞り調査する取り組みとして、**所管事務調査**を始めました。市から聞き取りをしたり、先進市へ視察をする中で、市の事業の内容や進捗を確認したり、政策提案を行います。市からは委員会が提案したことに対する取り組みの経過や結果が文書報告されることになりました。



早稲田大学マニフェスト研究所主催の「マニフェストサミット2016」において、全国の地方議会の先進事例として取り上げられました。

平成20年度
(2008年度)

平成21年度
(2009年度)

平成22年度
(2010年度)

平成23年度
(2011年度)

平成24年度
(2012年度)

平成25年度
(2013年度)

議長が ベルビュー市を訪問

平成21年(2009年)でアメリカ合衆国ワシントン州**ベルビュー市との姉妹都市提携40周年**を迎えました。市議会の代表である議長が、市民とともに親善訪問団としてベルビュー市を訪問し、交流を深めました。また、友好都市である中国の上海市嘉定区へもこの10年で3回訪問しました。



平成31年(2019年)に提携50周年を迎えるベルビュー市。緑と湖に囲まれた美しい町です。



HEISEI
平成
21年度

いつでもどこでも 議会を見れるように

インターネットで本会議と委員会の**録画映像の配信**をスタートしました。これまでは、傍聴でしか見れなかった議会の様子が自宅でも見れるようになりました。さらに、平成29年度(2017年度)からは、**スマートフォン**でも映像が見れるようになりました。

check!

スマートフォンでも簡単にアクセスできます。



HEISEI
平成
22年度

HEISEI
平成
24年度

大阪経済法科大学と 市議会が協定を結んだ

平成25年(2013年)2月に**大阪経済法科大学との地域連携に関する覚書**を交わしました。これによって市議会は政策立案能力を高め、一方、学生は実務経験の場として活用することができるようになりました。毎年、学生がインターン生として市議会事務局の仕事を体験しています。



大学との連携協定は府内で2番目の取り組みです。

HEISEI
平成
25年度

小学生が議員になった!? まめっこ議会

平成25年(2013年)5月に議場で**八尾まめっこ議会2013**を開催しました。市内小学校から33人の児童がまめっこ議員として参加し、学校ごとに「私の学校・地域自慢」をテーマに発表を行い、議員と交流しました。現在も、毎年八尾っ子おしごと体験として小学生が議会を体験する企画を行っています。



八尾市議会で議場開放が進むきっかけとなった取り組みです。